

第4号様式

指定管理業務評価表

施設名		富士見市立図書館鶴瀬西分館	令和6年度	事 業 報 告	
指定管理者名		株式会社 図書館流通センター			
指定期間		令和5年4月1日 ～ 令和7年3月31日	所管課	教育委員会 生涯学習課	

自己評価…指定管理者 所管評価…市（施設所管課）

	個別評価項目		自己評価	所管評価	施設所管課評価意見
1 業務の実施体制	人員体制	安定的な運営の為の人員を配置している。	A	A	
		必要な資格や経験を有する人員が配置されている。	A	A	
		責任者（代理する者）が施設に常駐している。	A	A	
	職員の対応等	仕事内容を十分に把握し、利用者対応を迅速かつ適正に行っている。	A	A	
		利用者の要望や苦情等に対して適切に対応している。	A	A	
		言葉遣い、節度、服装等が適切である。	A	A	
		事業計画に基づき職員研修を計画的に実施している。	A	A	
	法令等の順守	法令、条例等に基づき管理運営を行っている。	A	A	
	個人情報保護・情報公開	個人情報保護及び情報公開に関する規定が整備され、適切に対応できる。基本協定書個人情報取扱特記事項を遵守している。	A	A	
安全・緊急対策	緊急時マニュアルの策定とそれぞれに基づく訓練の実施、連絡・対応体制の整備ができている。	A	A		
報告書の提出	定期報告書等を期限内に提出している。	A	A		
2 業務の内容・水準	維持管理	清掃、警備、衛生管理を適切に行い、利用者が施設を快適に利用できる環境となっている。	A	A	
		施設・設備・図書館システムの保守管理を適切に行い、利用者が安全・快適に施設をりようできている。	A	A	
		修繕を適切に実施している。	A	A	
		備品台帳に基づき備品を適切に管理している。	A	A	
		外部委託の内容について、事前に市の承認を受けている。	A	A	
		条例等の規定に基づき、開館日時を遵守している。	A	A	
	事業運営	資料選定・受入業務が適切に行われている。	A	A	
		資料管理業務が適切に行われている。	A	A	
		窓口サービス業務が適切に行われている。	A	A	
		レファレンス業務が適切に行われている。	A	A	
		図書室・公共施設サービスが適切に行われている。	A	A	
		ホームページや広報紙等での広報活動が適切に行われている。	A	A	
		視聴覚ライブラリー業務が適切に行われている。	A	A	
		障がい奉仕業務が適切に行われている。	A	A	
		児童・YA向け事業が適切に行われている。	A	A	
		一般向け事業が適切に行われている。	A	A	
		提案事業が適切に行われ、利用者サービス向上に寄与している。	A	A	
		地域、ボランティア、他機関との連携に努めている。	A	A	
	利用者の要望	利用者の要望等の把握方法及び対応策は適切である。	A	A	
	利用状況	利用者数、貸出点数等は、適切な水準にある。	A	A	
管理記録	業務日誌及び点検、修繕の履歴を適切に記録、整備、保管している。	A	A		
環境配慮	省エネ、ゴミの抑制、リサイクルの推進に努めている。	A	A		
3 収支等	収支状況及び経理事務	収支の状況及び経理の処理が適正である。	A	A	
総合評価			A	A	
成果・課題等	(自己評価)	【成果】 ・学校連携事業の充実が図られている。特に、併設のつるせ台小学校と鶴瀬小学校、関沢小学校との連携が進んでいる。 ・特につるせ台小学校では、分館長が学校運営支援者協議会の委員となり、入学式、卒業式、音楽会、運動会、学校公開などに参加し、学校と深く関わりを持っている。 ・令和4年は、ひまわり学級については、図書館側から伺っていたが、令和5年からは以前と同様、鶴瀬西分館の集会室で読み聞かせをしたあと、好きな本を選んで帰るようにした。またブックトークを行うことで、いろいろな本と出会い、世界を広げられていると考える。 ・併設のつるせ台小学校校庭の芝生の上でのおはなし会を実施した。開放的な場所で、本を共有し、また体を使って遊ぶなど通常のおはなし会とは異なる体験を提供できた。 ・子ども食堂との連携で、読み聞かせを行った。地域との連携も実施できた。 ・恵愛病院・NPO法人ふじみっこ・夢みらいとの連携事業で、子どもたちに本を読む活動を行った。他団体を行うことで、より専門的に本の世界を広げることにつながった。 ・難波田城資料館等の連携企画を実施し、水子貝塚資料館との連携企画も実施でき、図書館で富士見市をより知ってもらう機会の提供ができた。 ・令和6年度より、英語とやさしい日本語の利用案内を配布できる準備をした。 ・YAサポーターの活動も定期的に実施でき、行事のお手伝いに参加していただいた。サポーターの継続参加を行っている。 ・まちづくり協議会に参加し、地域のおまつりなど地域の活動も積極的に行った。 ・つるせ台小学校の利用方法で、校内通路を使った利用が定着しつつある。今後も学校と協議しながら工夫していきたい。			
	(所管評価)	おおむね協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理運営内容で実施ができている。 鶴瀬西分館は、つるせ台小学校に併設された図書館という特色を生かし、小学校や児童クラブとの連携を積極的に進めている。 また、子ども食堂やつるせ台小学校の校庭での読み聞かせ、つるせ台まつりへの参加など、地域との交流を深めるとともに地域に根ざした図書館へと繋がっている。さらに、YAサポーター活動の定期開催、訪問演劇の上演会、ワークショップ形式の事業や民間企業と連携した講座を開催するなど、様々な企画を展開していた。 おはなし会・映画会・各種イベントの開催は、参加者の継続的な利用と幅広い年齢層に向けた図書館の周知にも繋がっている。 鶴瀬西分館については、業務の実施体制、事業の内容及と運営、施設の維持管理等について、年間を通して適正に管理運営が行われていると判断し、総合評価はAとする。			

※評価区分

① 個 別 評 価	AA(優 良)＝協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理運営内容である。 A(良 好)＝協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理運営内容である。 B(問題含)＝協定書、仕様書等を遵守しているが、管理運営内容の一部に問題がある。 C(要改善)＝協定書、仕様書等を遵守しておらず、改善が必要な管理運営内容である。
↓	
② 総 合 評 価	AA(優 良)＝評価表の個別評価がすべてA以上であり、かつAAが過半数である。 A(良 好)＝評価表の個別評価がすべてA以上である。(上記以外) B(問題含)＝個別評価すべてB以上あり、Bの割合が1割未満である。 C(要改善)＝上記以外